

<福島県納税貯蓄組合連合会長賞>

「税金」の大切さを伝える

中島村立中島中学校

3年 郡司きらり

「税金とはなんだろう。税金って本当に必要なの？」

これが、この間までの私の感想だ。だから、消費税が8パーセントに上がった時も、物の値段が高くなるのに、上げる必要があるのか少し戸まどった。しかし、母になぜ税金を上げるのか聞いた時、母は「医療費がタダで病院に行けるのは、税金を払っているからだよ。」と言われた。確かに、お金を払わずに薬がもらえることはいいことだと思う。では、税金とは、どのような時に、どのような場所で使われるのか知りたいと思った。

まず、税金とは、物を買った時にその物の値段にプラスして消費税として払うもので、男女、子供、大人、高齢者に関わらず、みんな平等に払わなくてはならない。税金は、国民が「幸せ」に暮らすための原点であることが分かった。

今から4年前の2011年。日本をおそった東日本大震災。この震災でたくさんの地域で大きな被害が出た。私たちが住んでいる、この中島村も他の地域ほどではないが、マンホールが上がったり、道路が地割れしたりなどの被害が出た。しかし、約1年後にはもうすっかりきれいな村を取り戻した。この道路の整備は、国民の税金から支払われてもので、税金があったからできたことでもある。もし、税金のない国であったら、きっと今のように住みやすい場所ではなかっただろうと思う。

日本以外の別の国では、消費税のない国や物によって消費税の値が異なる国もある。しかし、消費税は払わなくても、法人税や所得税などの税金を払う国もある。つまり、税金のない国はないのではないかと思う。また、貧しい国では、お金や食料が少ないの

で、税金を払うのが難しくなってくる。このことによって道路の整備が行われなかったり、医療費を支払うお金がなかったりして、生活が豊かではない国がある。このことを忘れずに生活する必要がある。そして、貧しい国の人々のために、できることを見つけしていくことが大切だ。日本にある税金で、世界と協力し、貧しい国を救うことができると思う。

税金は、私たちが豊かに暮らしていくために必要なもので、18歳まで医療費が無料なのも、小・中学校の教科書が税金でまかなわれていて、無料で勉強ができるのも税金を支払っているからだと分かった。もっと教科書を使って勉強し、教科書を大切に使用したいと思った。そして、税金を払っているから医療費や教育費がなしで生活できることを忘れずに将来、国民一人一人がもっともっと「豊か」に「幸せ」に暮らしていくために、税金はなくなるとはいけないと思った。

私は、初め税金が何のためにあるか分からなかったが、この作文を書くにあたってたくさんのことを知ることができた。これからも税金にもっと興味を持ち、税金の大切さを伝えていきたいと思う。